

# やとみ文協

## 弥富市文化協会

事務局 教育委員会生涯学習課  
総合社会教育センター

### 令和4年11月5日(土) 第31回 秋の洋邦楽舞発表会

3年ぶりに洋邦楽舞発表会が行われました。ホールに歌声、楽器の響き、観客の拍手が戻ってきました。



ドレミファ合唱団



ギター部 たんぽぽ



詩吟 ①



フラ・マヒナ



J☆KIDS



民踊クラブ

### 第31回 秋の市民文化展 ～日頃の成果を発表～

出品数  
文化協会…117点  
一般…128点  
市内中学校生徒作品



伝統文化 生け花親子教室



華道部 石田流華道会



弥富中学校 生徒作品



# 第十五回市民俳句大会

本年の応募者数2,288名(昨年比314名減)  
表彰式 令和4年11月5日(土)  
下記のとおり入選者の表彰を行った。

### 《一般、高校生の部》

弥富市長賞

妻亡くし蛙鳴く夜の箸一膳

一般 頓宮 英樹

弥富市教育委員会賞

今生きる感謝忘れず墓参

二年 石黒 隼翔

弥富市文化協会会長賞

海紅豆洞窟の語り部誰も老ゆ

二年 赤堀 正義

中日新聞社賞

通せんぼトイレ行かせて蠨螂くん

三年 加藤さくら

### 《中学生の部》

弥富市長賞

夕立におびえるねこの背をなでる

一年 鈴木 俊瑛

弥富市教育委員会賞

自転車と共に並走赤とんぼ

二年 荒川 然

弥富市文化協会会長賞

ただいまと同時に開ける冷凍庫

三年 大羽 航平

中日新聞社賞

走る馬夏の夜空に砂が舞う

二年 永田 雄大

### 《小学生の部》

弥富市長賞

雨の歌力エルも同時に歌いだす

五年 追田 晃雅

弥富市教育委員会賞

ふわふわの入道雲でねてみたい

六年 大谷わか

弥富市文化協会会長賞

夏の空オゾン探す露天風呂

六年 片岡小百合

中日新聞社賞

暑い夜空見つけた三角形

六年 河瀬 帆音

### 一般、高校生の部 入選

一年 足立 潤

一般 伊藤 正夫

二年 梅村 苺佳

一般 小島袈婆雄

二年 林 桜綺

一般 稲垣 喜正

二年 伊藤 未莉

一般 牛田 凜音

一年 武藤 一美

一般 後藤 実

中学生の部 入選

三年 窪田 仁

二年 田平 結大

三年 中島 維宥

三年 加藤 陸

二年 伊藤 美遥

一年 伊藤 琴音

二年 谷田 有

三年 加賀 まゆ

二年 山口 匠

三年 石井 瑠菜

小学生の部 入選

六年 加藤 優翔

二年 清水 健生

六年 村瀬 拓人

五年 松川 葉月

三年 荒尾 優衣

五年 関山 優衣

六年 内藤 水希

五年 伊藤 永華

五年 伊藤 永華

六年 伊藤 永華

六年 伊藤 永華

六年 伊藤 永華

六年 伊藤 永華

六年 伊藤 永華

### 【表彰式の様子】

本年度は一般の応募者数が減少しましたが、優秀な作品が多く見られました。



表彰式の会場



表彰状の授与



表彰状の授与

## 弥富の名所・旧跡紹介

加藤幹夫

### 前ヶ須宿

#### (明治の東海道)

東海道の脇往還(脇街道)だった佐屋街道は、佐屋川の川床上昇で佐屋湊が機能を失い、一八六八年(明治元年)の明治天皇が東京への行幸の際に、御座船白鳥丸が佐屋川を遡れず、三・五km南の焼田湊に着船を余儀なくされました。一八六九年(明治二年)、佐屋(現愛西市)からの移住者で宿役人だった弥富村の村田宗之助はある提案をしました。その内容は「佐屋街道を廃止して新しい街道を作ろう」というものでした。

周囲を説得し、佐藤七三郎、柴田善三郎らと名古屋県に請願、東京へも何度も行き、新政府へ陳情してようやく承認されました。名古屋藩費により、一八七一年(明治四年)三月着工、翌年四月に竣工しました。熱田「宮の渡し」の千年(ちとせ)から西へ行き蟹江川、日光川を渡り、六條・平島・前ヶ須の木曾川東岸「ふたつやの渡し」に至る一万一五六四間五尺(約二十一km)の道で、前ヶ須には渡し場と駅

宿が設けられました。

一八七二年(明治五年)一月の太政官布告で、「明治の東海道」と定められました。「東海道佐屋路道換、更ニ尾州海西郡福田、前ヶ須兩駅ヲ被置候条、此段相違候事」

佐屋路を廃止し、尾州海西郡福田、前ヶ須に宿場を置く、という意味です。この結果、佐屋路の往来は日々減少していくのに対し、前ヶ須は交通の要所となり、明治から大正にかけて郡役所、郵便局、警察署、登記所など官公庁が置かれました。

一九三三年(昭和八年十二月)尾張大橋が開通するまで交通の中心地として大変な賑わいでした。前ヶ須蓮如堂境内には、明治の東海道設営、前ヶ須宿の完成に功労のあった村田宗之助の墓石があり、前ヶ須の発展を願い、静かに佇んでいます。



蓮如堂境内 村田宗之助の墓



### 郷土の文化人

#### 『宮崎 筠圃』

宮崎筠圃は、江戸時代中頃に活躍した漢学者で、享保二年（一七一七年）に現在の十四山中学校近くに生まれました。幼少のころから聡明で、十歳ですでに漢詩をよく書くと伝えられます。十七歳で父母とともに京都に移り住み、伊藤東涯のもとで経学（孔子などの儒教の書物を研究する学問）を学びました。

筠圃は、庭に数種の竹を植えて、その庭を愛したことから「筠圃」と号し、学業のかたわら書画も修めました。中でも墨竹画を得意として数多く描き、浅井凶南、御園中渠、山科李蹊とともに「平安の四竹」と称されるほどでした。

しかし、画業に対する両親の理解は得られず、学業を継がなければ我が子ではないと諭されて、父母の戒めに沿って学業に励みました。父の死後は赤貧に窮しましたが、「窮して益々堅かるべし、先考（亡父）の遺命忘るる事なかれ」との母の教えをよく守り、師の東涯の死後、師の弟の蘭嶋（らんく）とともに経学の進歩に成果を上げました。



墨竹画で名が知られるようになると、自宅には画を描いてもらうと多くの人が押しかけました。母は、筠圃が画工とみなされることを恥じ、慎むよう戒めてからは再び絵筆をとることがなかったといえます。

安永三年（一七七四年）、京都で亡くなり京都市の永観堂（禅林寺）の墓地に葬られました。

生家に近い十四山中学校グラウンドの片隅には、「宮崎筠圃邸址」の碑があり、市の史跡に指定されています。



弥富市歴史民俗資料館

0567-65-4335

### 秋の市民茶会

令和4年11月5日（土）  
社教センターロビー  
裏千家茶道部（輝水会）



### 令和4年度市外行事報告

(一) 愛知県民茶会  
令和4年11月13日（日）  
西尾市文化会館28名参加



### (二) 県文連西尾張部芸能大会

令和4年11月27日（日）  
岩倉市総合体育文化センター  
本文化協会からは  
民踊クラブが参加



### (三) 第47回県文連美術展 団体鑑賞

令和5年2月21日（火）  
愛知県美術館ギャラリー

### 陶芸部員緊急募集

4月から活動場所がさくら会館から、十四山福祉センターに変わります。  
是非とも一緒に陶芸をやみましょう。  
入っていただける方は小林福子までご連絡ください。0567-66-2165  
会費は1ヶ月1,000円です。





# 令和4年度 秋の特別企画講習会

と き：令和4年11月3日～12月16日  
と ころ：社会教育センター、さくら会館  
楽平神社境内

コロナの第7波、8波の間の感染者数の少ない時期に秋の特別企画講習会は開かれました。各部とも参加者の皆さんが興味をもって下さるよう工夫を凝らした講座でした。



碁部：全員での自由対局  
若い方4名も参戦！



水墨画部：筆の使い方を3名の参加者に丁寧に



拓本部：楽平神社境内にある「大正天皇御大典記念碑」の表裏を手拓本



陶芸部：コップ、茶碗などを手伝って頂きながら完成！



絵画部（1）：静物（果物など）をモチーフに水彩、色鉛筆で描きました。

令和五年度（上期）  
文化協会行事予定

- (一) 第32回市民文化展  
と き 4月14日（金）  
～ 4月16日（日）  
と ころ 社教センター  
第一多目的室ほか
- (二) 春の特別企画講習会  
と き 4月14日（金）  
～ 4月16日（日）  
と ころ 社教センターほか
- (三) 第32回洋邦楽舞発表会  
と き 4月15日（土）  
と ころ 社教センターほか  
出演 洋楽・邦楽・舞踊各団体
- (四) 藤見の会  
と き 4月23日（日）  
と ころ 森津の藤公園  
お茶会・伝統芸能
- (五) 文化協会総会  
と き 4月27日（木）  
と ころ 社教センターホール  
参加 部長と部員一名
- (六) 市民俳句大会作品募集  
と き 7月1日（土）  
～ 8月31日（木）  
投句場所 社教センターほか
- (七) 『やとみ文協』第33号  
と き 9月発行